令和３年度　事務事業評価シート（１）

[令和2年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A　一般事務事業
事務事業名	がん検診（本庁）	事業番号	011-183
担当部署名	健康福祉 局 健康 部	健康医療推進 課	

Ⅰ．基本情報

事業の位置付け

No.	計画	項目	有・無	区分	内容	区分	内容
1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well－being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	―		
			無	現状値	―	目標値	―

No.	項目	内容
2	関連計画	健康さかい２１（第2次）
3	事業開始年度	昭和　58　年度　／　点検年度：令和　7　年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	健康増進法、堺市がん対策推進条例、堺市胃がん検診の実施に関する要綱、堺市肺がん検診の実施に関する要綱、堺市大腸がん検診の実施に関する要綱、堺市子宮がん検診の実施に関する要綱、堺市乳がん検診の実施に関する要綱

事業の概要

No.	項目	内容
5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、各区（保健センター）
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	胃：50歳以上偶数年齢の市民（約24.2万人） 肺：40歳以上の市民（約27.6万人） 大腸：40歳以上の市民（約27.6万人） 子宮：20歳以上偶数年齢の女性市民（約20.8万人） 乳：40歳以上偶数年齢の女性市（約17.4万人）
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	胃、肺、大腸、子宮、乳がんを早期に発見し治療に結びつけるため。
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	検査内容 胃：胃部エックス線または胃内視鏡検査 肺：胸部エックス線検査、たんの検査 大腸：便潜血検査 子宮：視診、内診、子宮頸部の細胞診（問診項目等により必要な方には子宮体部細胞診も実施） 乳：視触診、マンモグラフィ（40歳代の必要な方には超音波検査も実施） 受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込み受診する。 検診結果により、要精密検査になった方には精密検査を案内している。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	一般社団法人堺市医師会ほか
10	公民連携・協働事業	

Ⅱ．事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

No.	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和元年度	実績 令和2年度	目標 令和3年度	目標 点検年度 令和7年度
11	受診率 ・目標値は職域受診含む（国の目標） ・実績値は本市検診の受診分のみ	%	目標値	50.0	50.0	50.0	50.0
			実績値	15.5	14.0		
			達成率	31%	28%		
	当該指標を選定した理由	がん検診受診率を増加させることで、市民の健康の保持増進を図るため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	受診者数／対象者数					

No.	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和元年度	実績 令和2年度	目標 令和3年度
12	実施医療機関数	カ所	目標値	735	735	735
			実績値	735	735	
			達成率	100%	100%	
	当該指標を選定した理由	検診受診の機会を適切に確保するため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	市内検診実施協力医療機関数(5がんの延べ医療機関数)				

令和3年度　事務事業評価シート（２）

事務事業名	がん検診（本庁）	事業番号	011-183

Ⅲ．投入量

事業コスト

（単位：千円）

	項　目		平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
			決算	決算	予算	決算	予算
13	事業費（a）		803,444	861,203	1,083,844	777,549	867,806
	財源内訳	国支出金	3,739	4,796	4,597	2,300	4,595
		府支出金					
		市債					
		その他　（ 堺市民健康生きがいづくり基金 ）					25,000
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	799,705	856,407	1,079,247	775,249	838,211
14	人件費　（ｂ）		16,490	16,320	17,690	17,690	17,690
15	年間経費(ｃ)=(a)+(ｂ)		819,934	877,523	1,101,534	795,239	885,496

事業費の内訳

（単位：千円）

		項　目	年度		事業費	うち一般財源	項　目	年度		事業費	うち一般財源
16	事業費内訳	報酬、職員手当	R2	決算	1,872	1,872	がん検診委託料	R2	決算	694,000	691,700
			R3	予算	2,349	2,349		R3	予算	736,568	706,973
		報償費	R2	決算	253	253	読影センター委託料	R2	決算	58,920	58,920
			R3	予算	363	363		R3	予算	65,812	65,812
		旅費	R2	決算	188	188	委託料	R2	決算	14,604	14,604
			R3	予算	156	156		R3	予算	30,232	30,232
		需用費	R2	決算	2,849	2,849	使用料及び賃借料	R2	決算		
			R3	予算	8,679	8,679		R3	予算	190	190
		役務費	R2	決算	4,863	4,863	備品購入費	R2	決算		
			R3	予算	7,067	7,067		R3	予算	16,390	16,390

Ⅳ．事業の効率性

単位当たり経費

		区　分	単位	令和元年度	令和2年度
17	①	がん検診受診者数（胃・肺・大腸・子宮・乳）	人	128,236	105,837
	②	上記①にかかる年間経費	千円	877,523	795,239
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	6,843	7,514
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ．評価

費用対効果に係る所見

18

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言の発出により、令和2年4月13日～5月21日の検診実施の見合わせを行った。
また、市民の検診受診控えも影響し、令和2年度の受診者数は減少した。

がん検診総合相談センターを活用したコール・リコールの実施による不定期受診者への受診勧奨や、がん検診無償化の啓発に取り組んでおり、事業の目的を達成している。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19

がん検診の受診勧奨や啓発の実施により、市民が定期的にがん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療につなげることが可能となる。
今後もわかりやすい受診案内の作成やがん検診等も含めた市の各種検診の周知啓発を行い、健康の保持増進に寄与するよう取り組む。